

新事業進出目指し 「営業開発室」新設

敦井産業

建設資材など総合卸業の敦井産業（新潟市）は四月一日から、新事業分野への進出や取引先の拡大を目指す開発部門として、「営業開発室」を新設する。

同社では公共事業予算の縮小や原材料費の高騰が続いているため、既存事業だけでなく新たな収

益源となる新規分野の開拓が必要と判断。二〇〇一年に本格参入した「グラフィック事業」が堅調に推移していることもあり、より積極的な新分野進出を図るため同室を設置する計画だった。

同室には専従の担当役員一人を配置。担当役員は当面、東京支店に駐在し、本社や各支店などと連携しながら情報収集、調査を進める。具体的な事業化は本社の各営業部

や支店が担う。

同社の敦井一友常務は「開拓する分野は限定せず、既存商品の周辺から環境・バイオなどの新規分野まで幅広く取り組む。県内企業の商品を東京などへ発信していくことも考えていきたい」と話している。

同室創設に伴う同日付人事は次の通り。

取締役営業開発室長（取締役東京支店長）高橋徹▽東京支店長（東京支店次長）戸島好樹